

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山 絵里
全体計画						経費区分		-		内線	3631
事務事業名	4332 解放子ども会等推進事業										
所 属	300400 教育委員会事務局・人権同和教育課										
施 策	07013800 人権が尊重される社会の実現										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100803 教育費・人権同和教育費・社会人権同和教育費									
	事業	020000 解放子ども会等推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
何が差別であるかを見抜く力をつけるための基礎学習と他者への思いやりを学び人権尊重の意識を高めるための解放学習を行う。						児童生徒が、部落差別をはじめさまざまな差別の問題解決に向けて、差別を見抜き、差別に負けず、差別をなくす力をつけることを目指して、小中学生を対象に解放子ども会活動を推進する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高める。

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		306	504
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	25	25
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		281	479
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	958.3	958.3
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,264.3	1,462.3

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	217	解放子ども会指導者謝礼
11節 需用費	9	事務用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	57	解放子ども会活動補助金
その他	23	解放子ども会児童及び指導者スポーツ安全保険料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	380	解放子ども会指導者謝礼
11節 需用費	14	事務用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	66	解放子ども会活動補助金
その他	44	解放子ども会児童・生徒及び指導者スポーツ安全保険料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	解放子ども会は教育委員会が設置しており、学習をさせたいと願う保護者と本人の意欲がある限り継続する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	児童・生徒の発達段階に応じた学習と理解が出来ている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	解放子ども会の運営は保護者会が行っており、活動補助金の有効的な使用について指導する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童・生徒の学習体制を整えるため、該当する小中学校、保護者会と連携していく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
解放子ども会の自主性を尊重しながら、児童・生徒の差別撤廃につながる学習と立ち向かうための力の育成を図る取組みを継続していく。		基礎学習、解放学習を継続することで、対象地域の児童、生徒の差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	